

地域密着の個人塾こそ活かせるICT

開塾31年目を迎える学習塾宮崎教室は、中央林間にある地域密着型の塾だ。小学生から高校生までの生徒が通う。「塾を始めたときから試行錯誤を続けながらICTを採り入れてきました」と、宮崎智樹塾長は語る。

宮崎教室は、基本的に宮崎塾長ひとりで運営しているが、講師を雇う代わりにICTを効果的に活用している。その宮崎塾長が、ICTの教材・教具を選ぶ基準として、「きちんと作っていること」を挙げる。子供の成績を上げる、子供の視点に立って真摯にバージョ



宮崎智樹塾長は、manabo 以外にも様々な ICT を導入している

ンアップしていく教材は意外に少ないという。

その宮崎塾長が今年度から採用を決めた「manabo (マナボ)」は、タブレットやスマートフォンのカメラで解けない問題を送り、オンライン上で大学生チューター(講師)による指導がいつでも受けられるタブレット用アプリだ。

指導は通話や文字によるチャットに加え、画面をホワイトボード(黒板)のように使いながら、解りやすく指導してくれる。

宮崎教室では、一斉授業の時間に加えて、個別指導の時間を毎週設けている。個別指導の際にはチューターによる指導も行われるのだが、例えば同じ時間帯

に5人の生徒がいた場合に、全員の質問を一度に受けることはできない。それを解消するために、あらかじめ「今日はあなたとあなたはマナボね」という形で指導に入る前に振り分けている。マナボによる対応は、概ね数学と理科に使っているという。

また、独自の解法と宮崎教室のチューターの解法に加えて、さらに別の解法を知りたい生徒が、自立学習する時にもひと役買っている。

生徒によって使い方も違う。マナボには、常時複数の先生が待機しているため、同じ先生に毎回質問する生徒もいれば、違う先生に質問したい生徒もいる。

「講師は生徒からのこれまでの指導の評価や得意科目といったプロフィール情報を指導開始前に確認してから自由に選べます。また、

お気に入り機能を使えば好きな講師をフォローでき、すぐに質問することができず」と、株式会社マナボの小林佳徳事業統括部長はマナボの概要を語る。

また、夏期講習など利用が増える期間は、講師の数を増やすことや、時間別の質問数などのデータから日々改善を重ねているため安定して指導を受けることができる。

マナボは、個人向けプランと学習塾向けプランが用意されており、学習塾向けプランは2万円/月から利用することも可能だ。新たに講師を雇用することを考えれば、この料金は決して高くないだろう。ICTを効果的に使うことで、講師不足の解消を図ることができる。例えば、アルバイト講師を確保することが難しい地域においては、質問対応の時のみに利用することでも講師不足の一助となり得るのではないだろうか。